



道

熊 丹
XIONG DAN

「もう3年目だよ。だから、さっさと帰ってきな。」「もう若くないのだから早く結婚して家庭を持たないと…そろそろ真剣に考えないと」母と連絡する度によく言われます。毎日昼間はまだいいのですが、夜が更けて周りが静かになり、寝る頃になると母の話が耳に響いて来ることが最近よくあります。

実は、如何にすべきかを考えても私にもよく分からない。仕事に慣れたばかりである一方で、長い間家族に会っていないので、一人異国で時々、寂しさに襲われます。しかし、せっかく日本に来たのだから、このまま何もできずに帰国していいのだろうかとずっと考えています。国に帰るべきか思案に暮れることが多く、ずっと悩んでいて、仕事に支障が出ることを危惧しています。「ユウちゃん、どうしたの？最近元気が無いわね。なにかあったの？」ある日の出勤時、いつもにこにこと話しかけてくださる利用者様に見つかってしまいました。自分のことを言いだすのがちょっと恥ずかしくて、多少の躊躇があって、「あっ、最近、人生に困ることがあるんですけど…」と答えました。利用者様はそれを聞いたら、けらけら笑って、「まだ若いのに、人生に困るの？あっ、そうだよ。あれやこれや悩みがあるのが若者だからね。私のような年齢になるとそんなことは無いわね。」と言いました。どう答えたらいいか分からないので、黙りました。その利用者様は私が黙っているのを見て、話をそらしました。「春がきた

んだ。どう？来る時、道端の桜が咲いていた？」突然聞かれて、なんだろうかと呆然としたまま「すみません、気付かなかったです」とごちなく答えました。「ユウちゃん、外を見て！」その利用者様はにこにこと笑いながら言いました。振り返ると、窓の外の桜はすでに満開で、そよ風に吹かれて、花びらは雨のように舞い落ちていました。「綺麗だ！」私は思わず声が出ました。「ユウちゃん、人生まだ長いよ。色々な悩みがあるんだ。目の前のことばかりに迷わされたら、人生の素晴らしさも見逃しちゃうよ。」その利用者様の言葉は目から鱗が落ちる思いがしました。

人生は目の前ばかりではなく、もうすこし前を見なければ、多くのものを見失うことになる。未知の世界で未知の方向に向かって前進を続けること、本当に意味があるかずっと考えてきました。元々世界の美しさや出会いのすばらしさを発見するために、日本に来たんです。せっかく日本に来たのだから、このままで帰るのはもったいないと思いました。魅力的な世界が待っているんだから、せめて今のうちに、もっと勇気を出して前へ出てみよう。正に、ある偉人のポエムのように

「僕の前に道はない

僕の後ろに道は出来る」

日本語能力試験1級を合格した私は次に看護師国家試験を挑戦し、多くの利用者様に役に立つ道を作っていきたい。

受賞の喜び



熊 丹

国 籍 中国
職 種 介護
実習実施者 社会福祉法人中川徳生会
監理団体 PNJ事業協同組合

この度は、優秀賞をいただき、誠にありがとうございました。JITCOの皆様や選考委員の皆様にご認められたことは、本当に嬉しく心から感謝しております。

この作文は、私一人の力で受賞したことではなく、いつもお世話になっている施設の皆さん、そして組合の先生たちのお陰です。

去年優良賞で授賞式に出席した時、講壇に座っている受賞者たちが輝いている姿を見て、来年こそあの席に座りたいなと思いました。決意したものの、コロナ渦の実務や日本語能力試験1級の受験及び看護師国家試験の受験勉強に追われて、一度は参加を諦めていました。それでも、施設や組合の皆様の強い応援により、なんとか書き上げることが出来ました。更に優秀賞をいただけたことは、本当に忘れられない思い出となりました。今後どのような人生を歩んでも、二度の受賞した経験は一生の宝物だと思います。これからも、仕事や日本語をもっともっと頑張っ、利用者様や患者様により良いサービスを提供できますよう成長していきたいと思ひます。

指導員のこゝば

熊丹さん、この度は、優秀賞受賞、おめでとうございます。

熊さんは、大変勉強熱心な努力家で、学んだことをしっかり介護現場で活かし、実践される頼もしいスタッフさんです。また、穏やかな雰囲気での自然な声掛けで、ご利用者様たちとコミュニケーションを取られるので、ご利用者様はいつもリラックスした気持ちで過ごされているように感じます。

異国の土地で寂しさや不安、辛いこと等、多々あると思いますが、凜として目標に向かっていく姿は、我々の方こそ見習わなければならないと感じています。

これからも熊さんらしい優しさと素敵な笑顔と勤勉さでもって、熊さんが思い描く理想の姿へ、着実に進み、活躍されることを心より願ひます。

社会福祉法人中川徳生会 特別養護老人ホーム都筑の里 谷 亜希子・仁田 弥生